令和元年　７月２９日
青森河川国道事務所
青　　森　　県

第10回 奥入瀬渓流利活用検討委員会の開催について

■「奥入瀬渓流」は、我が国が世界に誇る貴重な自然環境や美しい自然景観を有しており、後世に守り伝えていかなければならない国民共有の財産です。
■国民の貴重な財産である奥入瀬渓流の自然保護と利活用を両立させる交通マネジメントなど、渓流に並行している国道１０２号の利活用策を検討することを目的に、平成２５年１０月、奥入瀬渓流利活用検討委員会を設立しました。
■第１０回目となる委員会では、「交通マネジメントについて」として例年開催しているマイカー規制や、平成２９年度から取り組んでいる「モビリティ・マネジメント」の昨年度の結果や今年度の方針について意見交換を行うほか、平成３０年６月に策定された「奥入瀬ビジョン」に基づく「交通システム」についても意見交換を行います。

１.日時　：　令和元年７月３１日（水）１３：３０～１５：３０

２.場所　：　青森国際ホテル　３階　孔雀の間

３.議事　：　１）交通マネジメントについて
　　２）交通システムについて
　　３）知っていただく仕組みづくり
　　４）今後のスケジュール（案）

４.委員名簿　：　別紙１参照

５．その他　：　会議は公開で行いますが、カメラ撮り等は、冒頭から挨拶までとします。
　　なお、会場の都合により一般の方の傍聴はできません。

＜記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社＞

問い合わせ先
【奥入瀬渓流利活用検討委員会　事務局】
国土交通省 東北地方整備局　青森河川国道事務所　（直通）017-734-4570
建設専門官　木村（きむら）　慎二（しんじ）　（内線 460）
青森県 県土整備部 道路課　（直通）017-734-9651
整備推進ｸﾞﾙｰﾌﾟﾏﾈｰｼﾞｬｰ　鈴木（すずき）　政孝（まさたか）（内線 6712）

別紙１

奥入瀬渓流利活用検討委員会

委　員　名　簿

氏名	所属・役職等
石田 東生	筑波大学　名誉教授
泉山 元	青森経済同友会　幹事
内山 清	青森中央学院大学　教授
九戸 眞樹	弘前市教育委員会　委員長(～H30.5)
幸丸 政明	東京環境工科学園　参与
武山 泰	八戸工業大学　教授
谷口　綾子	筑波大学大学院　准教授

敬称略・五十音順

オ　ブ　ザ　ー　バ　ー

氏名	所属・役職等
三村 申吾	青森県知事
小山田 久	十和田市長
小又　勉	七戸町長
三浦　朋子	青森県　環境生活部長
新井田　浩	青森県　県土整備部長
秋田　佳紀	青森県　観光国際戦略局長
楠美　祥行	青森県　上北地域県民局長
小沢　晴司	環境省　東北地方環境事務所　所長
吉田　耕一郎	国土交通省　東北運輸局　局長
佐藤　克英	国土交通省　東北地方整備局　局長
酒井　洋一	国土交通省　東北地方整備局　道路部長
巖倉　啓子	国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所長



第９回奥入瀬利活用検討委員会（平成 31 年 3 月 13 日）

H30　マイカー交通規制時の状況
（奥入瀬渓流でのグリーンスローモビリティ）


車道を散策する歩行者とランドカー


ランドカーと電気バス（e-COM）のコラボ


電気バス（e-COM）と散策者


自動車がいない環境でゆっくり散策